

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT 機器を利用し、調理の仕方について動画を流したり手元をカメラで映しながら実践したりすることで理解を深めることができた。
- ・調理では、地域人材を活用して、より指導が行き届くようにした。たくさんのボランティアにより、スムーズな実習を行うことができた。
- ・家庭での取り組みを調査し、学習したことをもとにさらに家庭で実践することで学習が生活に結び付いていることが実感できた。クリーン大作戦や手洗い洗濯実習などに意欲的に取り組んでいた。
- ・裁縫では、基本的な縫い方を丁寧に指導し、スモールステップで課題を設定して授業を行った。技能が身に付き、個性を生かしてオリジナルタオルハンガーを製作することができた。

(2) 課題

- ・様々な実習を行ったが、実習を通して何を学んだかを振り返るスライドの提出が遅かったり、忘れていたりする児童が多い。理由としては、振り返りに何を書けばよいのかわからないようであった。「振り返り名人」という掲示物を作り、書き方の手本を示していく。
また、授業の中で振り返りを書く時間を確保したり、担任の先生と連携を取ったりすることで提出できるようにしていく。
- ・自分の生活を振り返る学習を取り入れたが、生活経験に差があるため、その中から課題を見出すことが難しい様子だったので、指導の工夫が必要である。
- ・欠席した児童の作品が遅れがちなので、担任と相談しながら効率よくできるよう、時間を確保していく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・裁縫では、基礎的な技能が身に付くようにスモールステップで課題を設定し、段階的に学習を進められるようにする。 ・実習では「池雪いきいき応援隊」と連携し、支援内容について明確にすることで、技能の定着を図る。 ・ICT 機器を利用し、裁縫や調理の仕方について理解を深められるようにする。	・ICT 機器を活用し、学習で体験して学んだことをまとめ、発表し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・話し合い活動や家庭での実践を報告する時間を設定し、考えを述べたり、友達の考えを聞いたりする場を設けることで、自分の考えを広げられるようにする。	・家庭での生活体験をもとに授業を展開していく。 ・家庭と連携し、学習内容についてのインタビューや実践を行うことで、家族の一員としての自覚を促し、すすんで生活をより良くしようとする態度を育む。